



# 近畿支部会報

2024年10月 支部長

今年は暑くて少し咲くのが遅れましたが、ヒガンバナ(彼岸花)が咲いていました。この花には毒があります。そして、地獄花・幽霊花・毒花・狐花・狐の松明・剃刀花・痺れ花・天蓋花…など、別の名前が100以上もあります。みなさんはなんと呼んでいますか？



嬉しいニュースは日本原水禁被害者団体協議会(被団協)がノーベル平和賞に選ばれたことです。1945年広島と長崎に原爆が投下されて終戦を迎えました。原爆で被爆した人たちは肉体の苦痛や差別で苦しみましたが、その経験を踏まえて核兵器は2度と使われてはならないという事を世界に広めてきました。こうした努力が世界の人々の心を動かして核兵器禁止条約が出来ました。今、ロシアがウクライナ侵略で核兵器の威嚇を行ったりしています。世界平和を目指すサーバスとしても本当に感激する平和賞の受賞でした。

今回の会報は、次の内容でお届けします。

- 1. 例会報告  
 出会いを大切に・・・ 京都市 [H.T](#)  
 参加者の感想
- 2. トラベラー受け入れ報告  
 Is君を受け入れて・・・ 舞鶴市 [K.Y](#)  
 Piさん、Veさんのディホスト・・・ 舞鶴市 K.Y  
 受け入れ報告まとめて・・・ 久御山町 [A.K](#)
- 3. お知らせとお願い・・・ 支部長

## 1. 例会報告

### 出会いを大切に

京都市 H.T

近畿支部では国連の国際平和デーに合わせて平和を考える例会をしています。今年は10月13日(日)宇治市にあるウトロ平和祈念館を見学しました。参加者は近畿支部会員8名でした。常に平和

を希求されている W.A さんは例会日に都合が悪いと他の日に行かれましたので、9名になるかな？

歴史的には、朝鮮半島が日本の植民地となっていた時代、ウトロに飛行場建設が計画され、多くの朝鮮人が建設労働者として集められました。戦争が終わって飛行場建設計画が中断したのちも行き場のなかった朝鮮の人たちは使い捨て



のように放置され、厳しい貧困と差別のなかで、ウトロで暮らし続けてきました。ウトロの土地が民間企業に転売されたことにより、一方的に立ち退きを迫られ生活の拠点が奪われかねない事態に陥りました。ウトロの人々は生活と権利を守るために自ら立ち上がり声をあげました。その声は、日本による加害の歴史と戦後も続く在日コリアンへの差別に心を痛める多くの日本市民に支えられました。その取り組みは国連からも住民たちへの差別を是正するよう勧告が出るなど、国際社会からも注目されました。韓国からもウトロに生きる同胞たちの生活とその歴史を守ろうという声が大きくなるとなり、韓国政府も支援に乗り出しました。こうした声が大きくなるとなり多くの支援が寄せられた結果、ウトロの土地問題が解決し、住民たちが安心して暮らせる場ができました。2022年4月、人権と平和の大切さ、共に生きることを伝えていける場所になることを願って「ウトロ平和祈念館」が建設されました。

平和祈念館は3階建てで、1階は地域に開かれた交流のための広い場所です。2階はウトロの歴史が常設展示されています。3階はウトロに生きた人の姿と思いが展示されています。屋上は太陽光パネルを設置してお日様発電所になっています。

ウトロに生きた人の展示にはその生活の様子が描かれています。大雨が降ると浸水した事、上水道もなく地下水を利用したことなど、知るほどに今のガザの生活と重なって、どんなに困難な中を生活されたのかと、「私は長年生きているのに何も知らない」事を痛感して、今日はここに来て本当に良かったと思いました。最後には副館長さんがフィールドワークと言って地域を歩きながら色々説明してくださいました。直接説明をお聞きしてわからない事を質問したりして、本当に中身の濃い見学でした。

その後、流れ橋で有名な上津屋橋近くの四季彩館へ移動して、八幡家でランチバイキング、地元の食材を使った品々が無数にあり、美味しい料理と香り高いコーヒーでリラックス、そして、快い風に吹かれながら流れ橋を散策しました。今回は余りお目にかからないK.MさんやI.Nさんも参加して下さったのが、とても嬉しいでした。

## 参加者の感想

### ウトロ平和祈念館を見学して

久御山町 A.K

久御山町に引っ越しして7年が過ぎます。久御山町の歴史の勉強をしているといろんなことを知りました。戦時中に京都空港を作るために土砂を近鉄大久保駅あたりから鉄道を作って運びました。作業を進めるためにたくさんの韓国の人たちが飯場に住み込んで作業をしていました。住んでいた場所が現在のウトロ地区になります。屋上からは町並みを見る事ができます。フィールドワークは副館長 金さん

が周りを歩いて説明してくださいました。今より 1.5m 低くて水はけが悪く衛生面が良くなかったそうです。土地の問題では所有権がなかったために大変な思いをしました。その当時の資料等が保存されていた場所を放火されました。その経過も詳しく展示してありました。セウォル号沈没で生き残った生徒との交流も続いているそうです。素敵な似顔絵を見る事ができます。交流は今でも七輪で焼き肉をするのですが、みんなで囲んで話をするため広い場所は欠かせないそうです。平和への取り組みを続けています。

朝鮮通信使、驚くべき真実

久御山町 A.T

日本は、弥生時代以降、渡来人から多くの文化を学び、平安京の成立には、渡来人の秦氏の協力があり、遷都を行った桓武天皇の母、高野衣笠は百済系の出自です。私には韓国に、お互いに『兄弟』と言い合う友人を含め、多くの友人がいます。でも、私は子どものころ、韓国の人々をからかっていた囃子言葉を今でも覚えています。なぜ、韓国人を見下していたのか、いつも不思議に思っていました。今回、ウトロに行く機会に、調べてみました。どうやら室町時代に始まり、江戸時代の後期まで 20 回も続いた「朝鮮通信使」が原因ではないかと思えます。韓国から 300~500 人、日本側の警備と荷物運びの人足が加わり、3000~4000 人の行列が江戸まで行きました。100 万両（今のお金で 1000 億円）もかかったそうです。私は、貢物を持ってくる朝貢だと思っていました。しかし、費用は、日本に入るとすべて日本側の負担でした。幕府は朝鮮通信使が通過する藩に莫大な費用を負担させ接待をさせました。朝鮮通信使の一行は、手厚いもてなしを受けながら江戸まで来たのです。挨拶に来させたように見せて、幕府は人々に、韓国人より日本人が上だと思わせてきたのです。このことがその後の韓国併合につながっているのでしょうか。私たちは、偏見を植え付けられたのではないのでしょうか。



## 大阪市福島区 I.N

昨日は、お天気も良く、とても有意義な時間を過ごさせて頂きました。1人では中々行けない所へ皆様と一緒に行く事ができ、説明もして頂き、本当に良かったです。ウトロの事は全く知りませんでした。そんな所が有るとい事、写真を見て、副館長さんの説明を聞きながら、まわりを散策して、そういう歴史があった事を知りました。木津川の流れ橋は、ドラマに出てくるような風景で、空と雲と川がとても良い感じでした。行きは渡るのが少し怖かったのですが、帰りは大丈夫でした。行った事がなかったのですが、A.T様が説明をしながら渡ってくださり、ただ渡るだけではなく、良い時間でした。初めて参加しましたが、良い交流をさせて頂きました。また機会があれば参加させて頂きたいです。ありがとうございました。

## 草津市 N.N

ウトロ地区のことは新聞などを通して聞いてはいましたが、思ったより住宅街の中にあり、立ち退きなどで今は限られた歩ける範囲の地域でした。ここに閉じ込められた感じで住まわれていたのかなと過去に想いを馳せると、息苦しさを覚えました。案内して下さった方の言葉の中の、「憎むのではなく共に生きる」という生き方に学ぶ思いでした。今まさに必要なことだと思います。その後のランチ、流れ橋では平和のありがたさが自然と感じられました。過去の歴史と異文化、人と人とのつながりなどについて知ることができた貴重な1日でした。ありがとうございました(๑)

## ウトロ平和祈念館

## 大津市 S.Y

戦時中、京都に飛行場を作ろうとしていたなんて全く知りませんでした。何のためにと思いました。しかし、そこで働いている人は、徴兵を免れて生き延びることができて良かったと思います。権力者の横暴と庶民のたくましさを感じました。その後、劣悪な環境と差別の中で生きていたウトロの人たち。祈念館の周りもととてもきれいに整備されていたので、劣悪な環境と言うことに対してびんと来ませんでした。嫌な匂いとか汚物とかは展示できないから、言葉だけでは実情がわからないなと思いました。焼肉の話になって、和みました。食べ物の話は罪がない。ウトロの人たちみんなで焼肉を食べているとき楽しかったんだろうなと思いました。

## ウトロ平和祈念館を見学して

## 大津市 W.A

ウトロ平和祈念館には近畿支部の皆様とご一緒に見学したかったのですが、都合がつかず、以前から見学を希望していましたので一人で行くことにしました。その旨を支部長さんにお伝えすると私の都合のよい日にご案内くださるとのご親切に甘えました。

10月4日10:30近鉄大久保駅にご夫妻のお迎えを頂き、駅からはかなり遠かったのでお迎えは助かりました。

小雨の中到着。3階建てのビル、駐車場もそれなりに広く、平日の小雨の中、大型バスが2台、普通車も駐車スペースの半分以上は埋まっていました。人の多さに関心の大きさを見る思いでやや嬉しく思いました。各階は人が多かったので、支部長さんはまず屋上へ案内してくださいました。京都市の南端に接し、ほぼ市全域を俯瞰する位置。三方を山に囲まれた昔ながらの見慣れたパノラマ、そこにいくつもの自動車道の高架が走り、いやが上にも時代を感じさせられました。

屋上にはソーラーパネルと蓄電設備が設置され、水道も電気も満足でなかった当時のウトロ地区の

人々の暮らしを思いました。「ウトロ平和祈念館おひさま発電所」として昨年春に完成。ウトロ平和民間基金財団と京都の市民再エネプロジェクトの協力による設立、ウトロの人権問題、平和問題と地球環境、エネルギー問題の出会いの場になりました。

祈念館のすぐ足元には自衛隊の駐屯地があります。そこは戦時中に京都飛行場建設用地、韓国からの労働者として作業員 1300 人が来日。ウトロ地区は作業員の飯場でバラック風の建物が中心。(現在その一軒がガレージに復元されている) 飛行場が完成する前に敗戦となり、帰国した人もある中そのままそこに住み着いた人々の地域がウトロ。日本政府は自国民の手当てでも十分できかねる時、韓国人はそのまま捨て置かれ、過酷な住環境に加えて周囲からは酷く差別され、辛酸の戦後史を生き抜いて来られました。劣悪な日常生活の中でも地域の長老方が韓国人として誇りを堅持して子孫に伝えたことに敬意を感じました。その状況を周囲の市民が韓国人側にたって交流を続け、その成果の一つとしてのウトロ平和祈念館の存在はウトロの人々の苦難の原因である側の日本人として幾分か心が癒されます。ウトロ平和祈念館長はおよそ 40 年近くの地域の人々のために努力された日本人田川明子さん。過日関東大震災の折、韓国人がデマのために大勢が殺された事件の報道番組を観ました。日本は戦争の被害ばかりに重点をおいた教育のように思えますが、実は加害の実態も看過できません。そもそも「戦争」が根源。加害者側の痛みがいくらかでも和らげられるのはサーバスとして体験できた韓国人との温かい交流です。

.....

京都市 W.H

初めてウトロ平和祈念館を訪れ、日ごろ韓国ドラマや k-pop に浮かれている私にとって衝撃的な 1 日でした。過去の事実とほうらはらに、この日は透き通る青空が広がっていました。長年京都に住みながら生まれる前とはいえこのような理不尽で悲しい出来事があったことは驚くばかりでした。日本政府の身勝手な対応故にインフラの整わない生活、雨漏りの住まいは想像を絶するものでした。苦しみの中声を上げる人がいて、それに寄り添う人々がいてこそ今がある。その歴史は長く辛いものだったでしょう。副館長の説明でより理解が深められ、今も終わらない戦争がもたらす悲劇、そして平和について考えさせられました。2014 年韓国で起きたセウォル号沈没事故にあい、トラウマを抱える生徒達が 2 度もこの地を訪れたそうです。これからも世界中の多くの人が訪れ、人々の繋がり、平和のことを考える場であって欲しいです。

## 2. トラベラー受け入れ報告

Is 君を受け入れて

舞鶴市 K.Y

2024 年 8 月 18 日～21 日、Is 君を受け入れました。

8 月 18 日、Is 君は京都発東舞鶴行きのバスに乗り遅れ、電車で夜遅く、舞鶴に到着。お父さんに買ってもらったという大きなスーツケースを引きずり、やってきました。主人と駅に迎えに行き、晩御飯は回転寿司に行きました。フランスに住んでいる 21 才、幼い頃から日本に憧れ、難関の大学に入り、日本

語を勉強中です。二年間、日本に行くために、お金を貯め、憧れの日本にようやくやってきました。上手に日本語をしゃべる Is 君、素直でやさしくて、こんなに日本を好きでいてくれることに、感動しました。

東京に1か月、京都に3週間、札幌に何日間か行くとのこと。京都に行く前に、舞鶴で3泊。

到着した翌日、天橋立に連れて行きました。遊覧船に乗り、かもめのえさとして売っている「かっぱえびせん」を買い、かもめのえさやりをしました。えさやりには子供のようにしゃぐ Is 君、かわいかったです。リフトで展望台に上り、レストランで昼食をしました。帰りの遊覧船でも、さっそくかもめのえさを買い、えさやり。カモメに糞を服に落とされ大騒ぎでした。

3日目は、Is 君が一度体験してみたいけれど、恥ずかしくてしたことがない「温泉」に朝から行ってみました。温泉から上がって、「どうだった？」と聞くと、「恥ずかしくなかった！」とっていました。昼はマクドナルドで二人でハンバーガーを食べました。

お別れがさみしかったです。京都に3週間滞在の後、北海道行きのフェリーに乗るため、再び舞鶴にやってきました。ところが、電車は綾部で舞鶴行きと豊岡行きの車両に切り離すのですが、彼のスーツケースだけ豊岡方面に行ってしまい、彼だけ舞鶴へ。彼は泣きました。スーツケースは天橋立駅で預かっているとのこと。私の車でスーツケースを取りに行きました。無事、その晩のフェリーに乗ることができました。

札幌で何日間か過ごした後、小樽からフェリーに乗り、再び舞鶴へ帰ってきました。私の家で一泊し羽田空港に向かいました。夜食に作っておいた、おにぎりとお揚げ、おにぎりが大好きな Is 君は、おにぎりをおいしそうに食べていました。



## Pi さん、Ve さんのディ-host

舞鶴市 K.Y

スイスのジュネーブからお越しの、Pi さんと Ve さんを9月24日、京都でディ-hostすることになりました。Pi さんは作家さんだそうです。

AM9:00 頃京都駅で待ち合わせて、地下鉄で東山駅へ。青蓮院門跡と知恩院を案内しました。Pi さんは「すばらしい」と感激され、Ve さんは、あちこちで寄り道をして、写真を撮ったりしてられました。知恩院の三門をくぐり、Pi さんと私は階段を登り、本堂でお経をあげているのを見学しました。

祇園四条に抜け、祇園花町を通り、川端通りにあるお店で、せいろ蒸しのランチをたべました。「いい店をチョイスしたね」と褒めていただきました。その後、新京極、寺町をショッピングしたりながら、三条まで歩きましたが、歩き過ぎました。Pi さんが、どこか、ビールを飲める場所はないか。そこで休み



たいとのこと。ビールを飲んで一休み。ここで、お別れをしました。

## 受け入れ報告まとめて

久御山町 A.K

### N.Kさん

5月5日から11日まで、N.Kさんがオランダから来られました。実は、大阪に住んでいた時に初めての日本ですと言って来られました。2回目の日本に来られて京都の家に来られました。今回は、私たちに予定があり、一人で京都市内に出かけていました。帰宅後は、一日の様子を話してくれました。伏見の商店街では、おいしいラーメン屋さんを見つけたり、宇治では、学校帰りの高校生に話しかけたりしたそうです。

N.Sさんと榊原温泉口駅で待ち合わせて送って行きました。私たちと一緒に温泉とN.Sさん宅に泊めていただきました。N.Kさんは温泉の時間が短くもつと長く入っていたいと言っていました。



### K.Oさん、J.Cさん



5月19日から21日まで、K.OさんとJ.Cさんは現在、オーストラリアとアメリカに在住、お友達同士で来られました。広島 of サーバスメンバーと過ごした後、我が家に来てくれました。私たちのお友達とオーストラリア人ご夫妻と一緒にディナーを楽しみました。次の日は、一緒に奈良に出かけました。大仏を見て、鹿たちの様子を驚きながら見ていました。奈良のビジターセンターでは、二人の名前を漢字で書いてもらったのを大事に持って帰っていました。

### Peさん

5月27日から29日まで、Peさんがアメリカから立命館大学大阪いばらきキャンパスで授業をするために日本に来てくれました。昨年、我が家に来てくれたこともあり再会をお願いしました。環境問題にとっても関心をもっていられます。私の友達を呼んでアメリカンピザの作り方を教えてくれました。今年の夏はとても暑く、小麦粉は発酵しやすく、オープンで焼きました。サラダとおいしいイチゴと楽しいおしゃべりで時間が過ぎました。スミソニアン博物館を見に来たらいいよと



誘って下さいました。飛行機代が高いからと言うと、お弁当は作ってあげるから大丈夫と話してくれました。



### Paさん、Crさん、Vi君

6月24日から28日まで、PaとCrさんと息子のViは10歳です。ルーマニアからアメリカに移民していて、アメリカの学校の様子を話してくれました。Viは日本のことにとても興味を持っていました。日本のトイレがとても気に入ってくれて、私たちに値段を聞いていました。広島県大久野島に行ったときに、Crさんが病気のウサギを見つけて保護ができないのかと言うメールがきました。国民休暇村の方に聞いても野生動物であり、ボランティアの人たちが定期的に見守っているとの事でした。

ているとの事でした。

### Be&MaさんとO1&F1さん

7月8日から13日まで。Be&Maさんは、フランスのパリ在住です。自転車旅行をしていました。雨が続いたため予定より遅れているとメールがありました。何時ごろに着くとメールがあったものの待ってもなかなか着きません。しばらくして、自転車のタイヤがパンクしてしまったとの事。シャワーを浴びてもらって今後の話をしました。7月9日にMaさんのご両親O1&F1さんがレンタカーで白川郷をまわっていて京都まで来てくれました。親子の再会で、旅行の話をいろいろ聞きました。O1さんは、パリオリンピックのマラソンの写真を送ってくれました。



### Jeさん、Paさん、Maさん

7月30日から8/1日まで。JeさんPaさんと孫のMaは台湾からでした。我が家の近くのバス停を降りて、そこのお家のインターホンを鳴らして場所を聞いていました。そのお家から電話をもらって迎えに行きました。小さい子供が二人いるので、遊びにおいでと誘ってもらいました。Paさんは少し体調がよくなかったので家でゆっくりしてもらいました。Jeさんはスーパーで食材を買って来て、食事を作ってくれました。楽しそうにいっぱい作ってくれました。



### 3. お知らせとお願い

支部長

- \*11月10日（日）お楽しみ例会, 12月1日（日）近畿支部総会を計画しています。ご参加を宜しくお願ひします。
- \*2024 年度サーバス年会費未納の会員のみなさまは振り込みをよろしくお願ひします。
- \*住所、電話、メールアドレス等変更がありましたら支部長までお知らせください。

.....